

指導担当学生の修士論文

令和5年度

- ・職場環境および健康度が子供を有する既婚労働女性の次子希望に与える影響に関する質問紙調査（ポッター美歩）

令和4年度

- ・分娩誘発時の子宮収縮の連続記録に影響を与える因子の解明に関する後方視的検討（折田夢生）
- ・妊娠期におけるDVの実態および健康QOLとの関連について（津田歩香）
- ・子育て中の女性の子どもを持つことに対する価値観と健康関連 Quality of life の実態（深井茉耶）
- ・分娩誘発時の胎児心拍数の連続記録に影響を与える因子に関する後方視的検討（山下彩花）
- ・母子保健コーディネーターが捉える母親達の悩みの実態（山下華歩）

令和3年度

- ・修正在胎35週時点での超低出生体重児の心拍数基線の変動に与える因子に関する後方視的研究（笠江菜々美）
- ・Robson分類を用いた総合周産期母子医療センターの帝王切開率の評価に関する後方視的研究（澤田泉吹）

令和2年度

- ・新生児集中治療室に勤務する看護師が設定する閉鎖式保育器の高さに関する検討（吉崎優希）

令和元年度（平成31年度）

- ・産婦人科外来でのNonstress test中の環境に対する妊婦の意識調査（大橋美侑）
- ・助産師と産科医の至適な分娩台の高さと背部角度に関する検討（土屋倭子）
- ・妊娠サイトメガロウイルスIgM抗体陽性と判定された妊婦が
胎内感染の確定に至る検査過程で示す態度の実態と妊娠転帰（前田雪葉）

平成30年度

- ・正期産分娩時胎児心拍数陣痛図の連続記録の正確性に影響を与える因子に関する後方視的検討（宮川和）
- ・ハイリスク妊産婦とその育児中の子どもを含む家族支援体制の構築に関する研究
～入院中の多胎妊婦の不安に関する検討～（森中佑佳）

平成29年度

- ・先天性サイトメガロウイルス感染症の妊婦スクリーニングに伴う母体の不安度に関する検討（上原加菜子）
- ・入院中のハイリスク妊婦の睡眠の質とそれに影響を及ぼす因子に関する検討（坂根明日美）
- ・ハイリスク妊産婦とその育児中の子どもを含む家族支援体制の構築に関する研究
～入院中のハイリスク妊産婦の不安度と不安対象の分析～（里崎麗）
- ・入院中のハイリスク妊婦の睡眠障害に関する前方視的研究
～主観的に視た睡眠障害の現状とその影響因子の検討～（田中安奈）
- ・早産児を出生した褥婦の母乳分泌に影響を及ぼす因子の検討（中山梓）

平成28年度

- ・超低出生体重児の分娩時胎児心拍数陣痛図連続記録の質に影響を与える因子に関する検討（河野美津子）
- ・サイトメガロウイルスIgM抗体陽性妊婦の支援体制構築に向けた外来紹介受診状況と妊娠転帰に関する調査（黒木真菜）
- ・新生児蘇生準備段階における保育器内汚染度に関する検討（田中美帆）
- ・妊娠期の不安と首尾一貫感覚（SOC）、出産自己効力感の関連性-高年妊婦と適齢妊婦を比較して-（恒吉里奈）
- ・超低出生体重児の生後経過に伴う閉鎖型保育器の汚染度に関する研究（山中瑠璃）